

1987	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
8	•	•	•	•	•	•	1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31	•	•	•	•	•

● 毎月15日は川崎市民地震防災デーです。

# 備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。  
 そなえる…用意する、そろえる、用心する  
 防備。常備。完備。不備。具備。兼備。  
 そなえ…したく、用意、警戒、防衛  
 備品。設備。備蓄。備員。備考。備忘。  
 そなわる…準備ができる、身に付く  
 ●●●ソナエ アレバ ウレイナシク

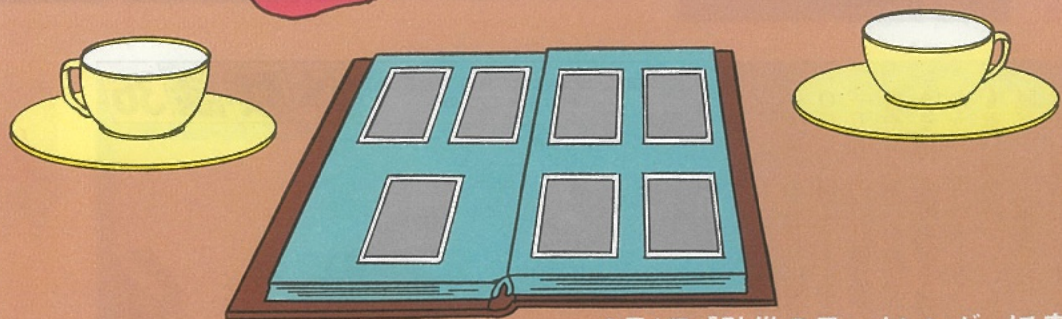
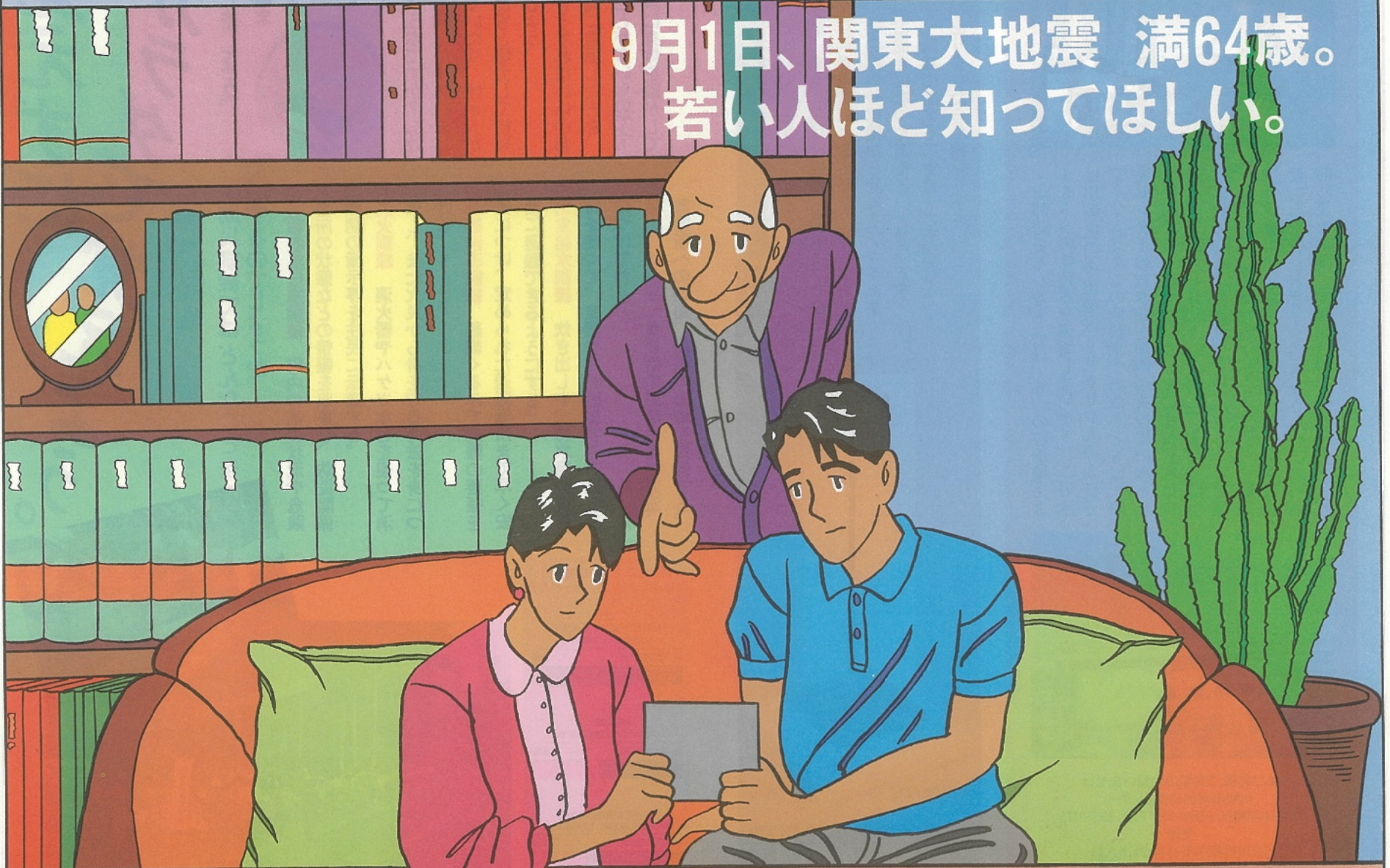


かわさき  
 防災広報紙

NO.  
**36**

昭和62年7月31日発行  
 発行●川崎市  
 編集●土木局防災対策室  
 〒210 川崎市川崎区宮本町1番地  
 TEL.(044)200-2111内線2841

9月1日、関東大地震 満64歳。  
 若い人ほど知ってほしい。



9月1日、「防災の日」。カレンダーに赤いまるを書き入れましょう。  
 そして、大正12年のこの日、  
 関東大地震があったことを知らなかった人は、今日覚えておきましょう。  
 川崎だけで2,300余名の死傷者を出した関東大地震。  
 その恐しさを直接知っているのは、限られたお年寄りだけになってしまいました。  
 今年で64年目。人々の記憶にほとんど残っていない、9月1日。  
 忘れた頃にやってくる災害への心構えを改めて思いおこすために、  
 9月1日を「防災の日」と決めました。  
 川崎市では、この日を中心として各区で防災訓練を行います。  
 防災訓練をみずから体験し、またお年寄りの話に耳を傾けて、  
 安全対策の大切さをこの機会に考えましょう。



### 南部防災センターだより

#### 飲料水も備蓄



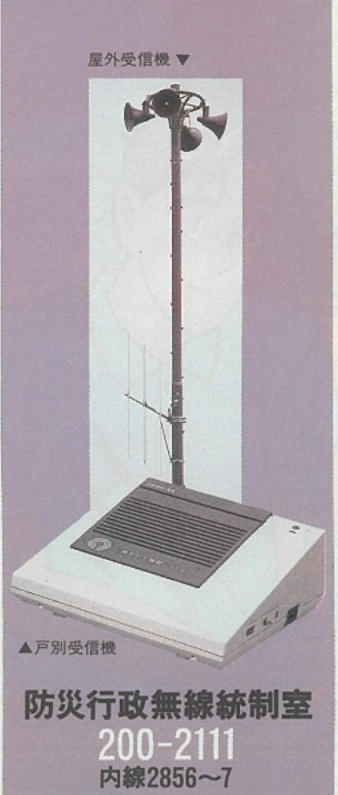
南部防災センターでは、6つの貯水槽に345トンの飲料水を備蓄しています。この水は川崎区の小田地区30,000人の3日分(1人1日3ℓ)の飲料水であるとともに、防災センターの放水銃と屋内消火栓用の水として使用するものです。この水の水質管理は自動滅菌装置でPH5.8〜8.6の間に、また残留塩素は0.1〜0.7mg/ℓに管理されています。また週に1度の水質検査(写真上)と年4回の「一般飲料水試験」、年1回の「水道法に基づく水質検査」を実施しております。みなさんぜひ一度、南部防災センターを見学されてはいかがでしょうか。



●ご利用、ご見学のお問い合わせは  
川崎市南部防災センター  
川崎市川崎区小田7-3-1 TEL 355-2175  
交通  
JR川崎駅中央口14・21出入口  
1番バス乗り場、臨港バス富士電機行き、  
小田小学校前下車 徒歩6分

### 防災無線に関するお問い合わせは

本年4月から防災行政無線が運用を開始しています。  
「毎月15日は市民地震防災デー」の戸別受信機による広報や、毎日夕方5時の屋外受信機から流れるチャイムをお聞きになった方も多いと思います。無線に関するご意見・ご要望などがありましたらお電話を下さい。



## 頭で覚えずにカラダで覚えよう。

●防災訓練に参加しましょう。くらくらとしたら、火の始末そして身の安全をはかりましょう。地震がおさまれば、家の中が安全だったとしても、まだ安心はできません。隣近所で「火はだいじょうぶですか?」「けが人はいませんか?」と声をかけあいましょう。もし、火災になっていたり、けが人がでたりしたら、近所の人たちと協力して初期消火や救出救護を行いましょう。

- ① 情報収集伝達訓練 町内の被災状況や危険箇所の状態などの情報を収集し、防災関係機関の指示等を住民に伝達する。
- ② 消火訓練 消火器やバケツなどを使って消火し、また火災から身を守る方法を身につける。
- ③ 避難誘導訓練 組織ぐるみで避難の要領を身につけ、定められた避難場所まで早く安全に避難できるようにする。
- ④ 給食給水訓練 炊き出しや、給水用の資器材を使って、食糧や水を確保する方法を身につけておく。
- ⑤ 救出救護訓練 負傷者の応急手当の方法、救護所への連絡、搬送の方法を習得する。

昭和61年9月1日実施の市民500人電話アンケートから

Q.1 9月1日が「防災の日」であることを知っていますか。	A. はい 97%	いいえ 3%
Q.2 防災訓練に参加したことがありますか。	A. はい 57%	いいえ 43%
Q.3 ご家庭で非常持出品など、何か地震の備えをしていますか。	A. はい 66%	いいえ 34%

### 身替りの靴

大震災の当日日区選出の府会議員O氏は、何よりもまず重要書類を、一万五千円の有価証券や種々の証書やらを靴につめ込んで、和服姿のまま南二葉町の家を出た。そのうち八方が火となったので、とても重い靴が持つていらぬ、羽織を脱ぎ捨て、靴まではうり出して命から避難した。するとあとから来た男が、件の羽織を着用に及び、靴を拾ってかけ出したが、さすがに重いのに持てあましついに倒れて焼死してしまった。

話がかわって火災の後に、本所区役所の吏員が区内を巡視すると、大きな靴を持った焼死人がいた。中を開けると日区選出の府議の有価証券や電車のパスが現れたので、大いに驚き、靴は保管し、死体を厚く埋葬するよう手続を取った。

ところが風の便りにこの話を聞いたO氏「僕は死なない。本物がここにいます。」と区役所の仮事務所へ出かけたので、吏員は二度ビックリ。ようやく話がわかり、靴は無事にその府会議員の手にもどった。

### 金時計とバナナ三つ

大地震当時上野公園付近は殊に食糧が不足で、焼け出された一紳士は、帯の間から金時計を取り出しバナナ屋の前から、「こうなるとは仕方ない。これとバナナ三つと取替えてくれ。」と最後の窮末に出た。バナナ屋目を

### 体験談36



関東大震災大火記念写真帖(複製版)から(表記は一部修正しております)

### 地震の心得⑧

秩序を守り、衛生に注意

身勝手な行動はとらず秩序を守りましょう。また、伝染病等の発生のおそれがあるので、衛生には十分注意しましょう。